

5 番	三宅 聡 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 自販機リサイクルボックスの異物混入低減の取り組み等について</p> <p>【質問趣旨】</p> <p>本年4月「プラスチック資源循環促進法」が施行され、プラスチックごみの削減とリサイクル促進が喫緊の課題となっている。</p> <p>リサイクルされるプラスチックごみの中に、現在既に回収品目として入っているペットボトルがあるが、「PETボトルリサイクル推進協議会」によると、我が国のペットボトルの回収率は世界でもトップレベルであり、大幅に環境負荷を低減していると分析されている。</p> <p>しかし、ペットボトルの回収</p>	<p>(1) 公共のゴミ箱について</p> <p>(2) 自販機リサイクルボックスについて</p>	<p>① かつて公園や街中に設置され、多くの人に利用されていた公共のゴミ箱は、現在そのほとんどが、家庭ごみの持ち込みなど不適切な利用があったため、撤去されたと聞いているが、撤去にあたり市としての基本方針があったのか伺う。</p> <p>② 公共のゴミ箱を撤去することによりどのような効果が得られたか伺う。</p> <p>③ ごみの不法投棄もなく正しく分別されるのなら、公共のゴミ箱の再設置は、市民サービスの向上に繋がると考えるが市の見解を伺う。</p> <p>① 全国清涼飲料連合会が行ったペットボトルに関する消費者意識調査2022によると、外出先でペットボトル飲料を飲む人、1,000名に聞いたところ、35.8%の人が「自販機横のボックスはゴミ箱ではなく、飲料容器専用のリサイクルボックスであることを知らなかった」と回答。同連合会の調査では、屋外設置自販機のリサイクルボックス内の異物混入率は31%。タバコや弁当容器、紙コップ、ビニール傘など様々な物が捨てられているのが現状であり、このような異物を飲料メーカーや流通事業者等が、自主的に費用・労力等を負担し処理しているところである。こうした自販機リサイクルボックスへの異物混入問題を本市はどのように認識しているか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

5 番	三宅 聡 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>過程で、「異物の混入」という新たな問題がクローズアップしている。</p> <p>その要因として、例えば公共のごみ箱の撤去が進んでいること等が指摘されているが、現状では、こうしたペットボトル以外の異物は、飲料メーカーや流通事業者が自主的に処理している。</p> <p>その結果、業界として本来は負担しなくてもよい処理費用等の負担が増大し、死活問題であるとも聞き及んでいる。</p> <p>私はこれからごみ減量を力強く推進していく本市だからこそ、その煽りを受けるような問題は注視すべきと考え質問する。</p>	<p>(3)「プラスチックごみゼロ宣言」に向けて</p>	<p>② 自販機リサイクルボックス内の異物混入低減は、自販機業者だけでなく、本市も協力して問題解決にあたるべきであると考え、市の見解を伺う。</p> <p>③ 今後、市として関係業者と連携し、異物混入が特に多い地域の調査を含めた実態の把握や官民共同による新たな回収モデルの構築等を考えていく上で協議体が必要と考えるが、市の見解を伺う。</p> <p>④ ペットボトルについて、その優れたリサイクル率や、適切な回収により資源循環・温暖化防止に貢献できること等、市民へのSDGsに即した意識啓発の取り組みも、協議体等で検討・推進していくべきと思うが見解を伺う。</p> <p>① 2018年に神奈川県において、県内の海岸に打ち上げられたシロナガスクジラの体内からプラスチックごみが発見されたことを受け、2030年までのできるだけ早期に、「リサイクルされず、廃棄されるプラごみゼロを目指す」との「かながわプラごみゼロ宣言」を行うなど、各自治体において、いわゆる「プラスチックごみゼロ宣言」がなされ、環境問題に取り組む機運が高まっている。本市においては、10月からプラスチック製容器包装の分別収集が始まるが、これを機に、我が瀬戸市においても、未来の世代を守るため、「プラスチックごみゼロ宣言」を行い、さらなる3Rを推進し、環境問題により積極的に取り組む姿勢を明らかにすべきと考えるが、市の見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。